

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272500760		
法人名	社会福祉法人秋葉会		
事業所名	グループホーム青い空		
所在地 (電話番号)	〒039-2402 青森県上北郡東北町大浦字境ノ沢127 (電話) 0176-56-3531		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 17日	評価確定日	平成 20年 12月 4日

【情報提供票より】(平成20年9月19日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 23日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅板葺平屋造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

### (4) 利用者の概要(9月19日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 92.5 歳	最低	84 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	工藤医院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景の広がる自然の中に、落ち着いたたたずまいの大きな屋根。外出から戻られた利用者の方から「帰ってきた」の声がきかれるというやすらぎに満ちた環境にある。84歳から100歳という平均年齢92.5歳の方々にとっと寄り添い、自分らしい生活の継続を支援したいと話す、スタッフのあかるい笑顔と、「ありがとう」がきかれるホーム内には、ゆったりとした時間がながれていて、安心して生活している様子が窺われる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	スタッフ全員で行っていた「チームでつくる利用者本位の介護計画」では、家族や医療機関にも、意見をもとめて作成している。日々のその人らしい暮らしの評価項目については、職員側の都合ではなく、本人の希望にそって個別性のある支援を行うようにしている。スタッフのペースと思われるときは、声がけをしスタッフ自身が気づくようにしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を全職員でおこない、サービスの質の向上につとめている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回定期的に実施しており、頂いた意見についてを、検討し経過を報告してサービスの向上につなげている。これまでの評価についても、報告をして、意見をもらえるようにしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	家族が話しやすい雰囲気づくりをスタッフ全員で心がけており、面会時には話し合うようにしている。家族交流会を年数回実施しており、家族同士での会話や交流できる機会をもうけている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	田畑に囲まれている環境であり、隣近所としての交流は少ないが、畑に来た方に積極的に挨拶するよう心がけている。採れたての野菜をいただいたり、外にでた利用者についての情報をいただいたりすることもある。地域での行事へも積極的に参加しているほか、施設周辺のゴミひろいや、側溝清掃活動を職員でおこなっており、感謝の声をいただいている。また介護教室の講師をする等で認知症普及活動に参加している。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域の中で安心して暮らしつづけられるように支援したいと、職員間で話し合い、理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時には必ず理念を伝えて、共有できている。また職員会議でも理念にそっての支援ができているかを、確認しあっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所と離れた環境ではあるが、農作業中の方と交流するなかで、取れたての野菜をいただいたり、利用者の外出に気づかないでいたときに情報をいただいたこともある等日常的な交流が図られている。また地域の介護教室等で講師を努め、認知症普及活動に参加したり、行事にも積極的に参加し利用者の楽しみになっている。地域へのお返しをしたいとはじめた、施設周辺のゴミひろいや、側溝の清掃活動も全職員で年2回実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全スタッフで取り組み、何が求められているかを再確認し、サービスの質の向上につなげている。外部評価も全スタッフで検討し、改善につなげている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回定期的の実施できている。評価への取り組み状況等について報告し、意見をサービスの向上につなげる取り組みをしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営や現場の実情を積極的に伝え、実態を共有できるように機会あるごとに相談し、課題解決に向けて協議できる体制ができている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修で全スタッフの理解を深めるようにしている。また家族にも、制度について支援できる旨説明をしている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修やミーティング等で学ぶ機会を多くし、虐待をしない、させない取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>丁寧に説明し、グループホームでの生活の理解が得られるようにしている。また見取りについての対応や医療連携体制等についても詳しく説明し、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月近況報告を送付しているほか、法人の広報やグループホームだよりを発行し、利用者の暮らしぶりを伝えている。面会時は介護計画を説明し、同意を得ている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時積極的に話しかけるなどして、家族が話しやすい環境作りをしている。また家族交流会でも問い掛けてなんでも言ってもらえるようにしている。第三者委員や介護相談員の来所で利用者が直接話せる機会も設けている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員が対応できるようにしているも、やむをえず異動や離職するときは、スムーズに移行できるように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月定期的に内部研修を実施しており、学ぶ機会を設けている。新人にはマンツーマンで育成したり、職員の段階に応じて外部研修等に参加できる体制あり、働きながら学ぶ取り組みおこなっている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人のグループホームとの交流や意見交換会をもうけているほか、他グループホーム職員の実習の受け入れをするなど交流の機会を持っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学していただき、安心してサービスが利用できるようにしている。また場の雰囲気に馴染めるように、入居当初は、家族と一緒に過ごす時間を多くしてもらったり、使い慣れたものを持ってきてもらったりしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に暮らす家族であり、日常生活での得意な分野で役割を分担している。調理準備を利用者と一緒にするなかで「千切りが上手になったんですよ」と若いスタッフが話す等支えあう関係ができている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話のなかで把握するように努めている。困難なときは、家族から情報を得るようにしている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の自分らしい生活を支えていくために、全スタッフでカンファレンスをおこなっている。また家族や医療関係スタッフからも意見をいただき介護計画を作成している。本人・家族の希望をもとに、計画を作成しているのに、記入する欄が白紙のところが見られた。</p>		<p>介護計画書の各項目についてその必要性について確認するとともに、必要なことは記録として残すという取り組みを期待します。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月のカンファレンスで見直しをしているとともに、変化や状況に応じてその都度、家族や関係者の意見を聞きながら、現状に即した計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族が安心した生活を継続できるように、状況に応じて通院や送迎等柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者家族と話し合い希望するかかりつけ医になっている。受診はスタッフが対応しているが、必要時は家族も同行している。また訪問看護との連携をとりながら、往診を利用できる等適切な医療が受けられている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等の希望を大事にしていくとともに、かかりつけ医や訪問看護と話し合っ決めていく方針の共有ができています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は、職員のかかわり方を自分の身に置き換えた視点からスタッフの気づきを促し、本人の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。個人ファイルの表紙は番号のみの記載であり、個人情報を守るよう取り組んでいる。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	前回指摘を受けたことを、大切に受け止め、一人ひとりのペースや思いを尊重した支援が継続できるように、スタッフの意識の向上を図る取り組みを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に育てた野菜をとり、一緒に調理し、一緒にテーブルで食事をすることで、一人ひとりの活動がいかされておき、食事を楽しむための支援を行っている。栄養面については、法人の栄養士のアドバイスをうけながら作成している。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められているも、その時の希望を確認し、入浴していただくようにしている。入浴拒否のある時は、スタッフ間の連携を密にして、タイミングを見て気持ちよく入浴していただくように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、お願いできそうな仕事をたのみ、必ず感謝の気持ちを伝えている。また、行事参加や、外出等の楽しみごとは利用者と相談しておこなっている。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望にそって、散歩や遠出の外出支援を行っている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての勉強会を実施している。また日々の申し送りでも拘束をしなかったかの確認をするなどして、全職員で拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけずに、自由な暮らしを支援している。外出しようとしている様子が見られるときは、一緒に付き添うようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成し、定期的に併設の事業所と避難訓練を行っている。運営推進会議でも協力を得られるように働きかけている。又、緊急時における地域とのホットラインも確立している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量を毎日、チェック表に記録しスタッフ間での情報が共有できている。栄養バランスについては併設事業所の栄養士の協力を得ている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成している。また全職員で研修をし、予防や対策に努めている。インフルエンザ対応等は家族の協力を得て、全員(スタッフ含む)予防注射をうけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	いすや家具の配置で一人ひとりにとって居心地のいい場所作りの工夫がみられた。廊下の中央に位置する浴室やトイレの戸が開けっ放しになっており、廊下周辺に不快なおいを感じた。		奥の居室をご利用の方のためにも、安全性・快適性についての取り組みを期待します。
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れたたんす、鏡台があり、居心地よく過ごせるような配慮がある。		

 は、重点項目。